

社会貢献活動への対処について

(社)北海道土木施工管理技士会

株式会社 高木組

担当技術者

高 谷 圭 介

Keisuke Takaya

1. 工事内容

当工事は、橋脚を2基築造するのがメインとなる工事で、それに伴って、基礎杭を18本、土留工他の施工を行いました。

工期は、7月中旬から翌年3月下旬まででした。

私は当現場で担当技術者として現場所長の補佐を致しました。

2. 社会貢献に対する当社の姿勢

当社受注工事の主な施工場所は、道南地域に散在しており、いろいろな地域にお邪魔して工事の施工を進めておりますが、その際、当社の姿勢として、よそ者の態度で臨むのではなく、その地域で生活を営まれている皆様と同じ気持ちで行動し、そして、その地域のために何か出来ることがあれば、例えば、その地域のイメージアップに貢献出来ることやその地域又はその地域の人々に直接働きかけることによりその地域に何がしかの貢献が果たせるのであれば、積極的にその行動を起こすことを念頭に置き工事の施工にあたる、このようなことを、全社的な考え方として、各工事の施工にあたるようにしております。

3. 当現場近傍の地理的状況と実行した活動内容

当現場は、函館市港町で施工致しましたが、その近傍には、約200m離れて「函館市立港小学校」が、約450mの距離に「第2太陽の子幼稚園」があります。

そして、それらの学校の近くには、「港公園」、「亀田港児童公園」、「港第2幼児公園」といった公園が散在しておりました。

下記に、現場近傍の地理的状況図を表示致します。

現場近傍のこのような状況を考慮し、この地域でお役に立てることは何かと思いを巡らしましたが、次に掲げる事柄につき、実行しようと考えました。

- ① 秋も過ぎれば、日の落ちるのも早くなりますので、学校帰りや公園等で遊んだ後の家への帰りの時、車両（通行量も結構ありました）等との接触での事故を防ぐために、反射材のついた身に付ける何かを寄贈しよう。
- ② 児童が不審者に声をかけられることが、現実には起こっていると聞き、現場付近で作業する「作業員」や「職員」は、「こども110番」の啓発ポスターをヘルメットや安全チョッキに貼り付け、

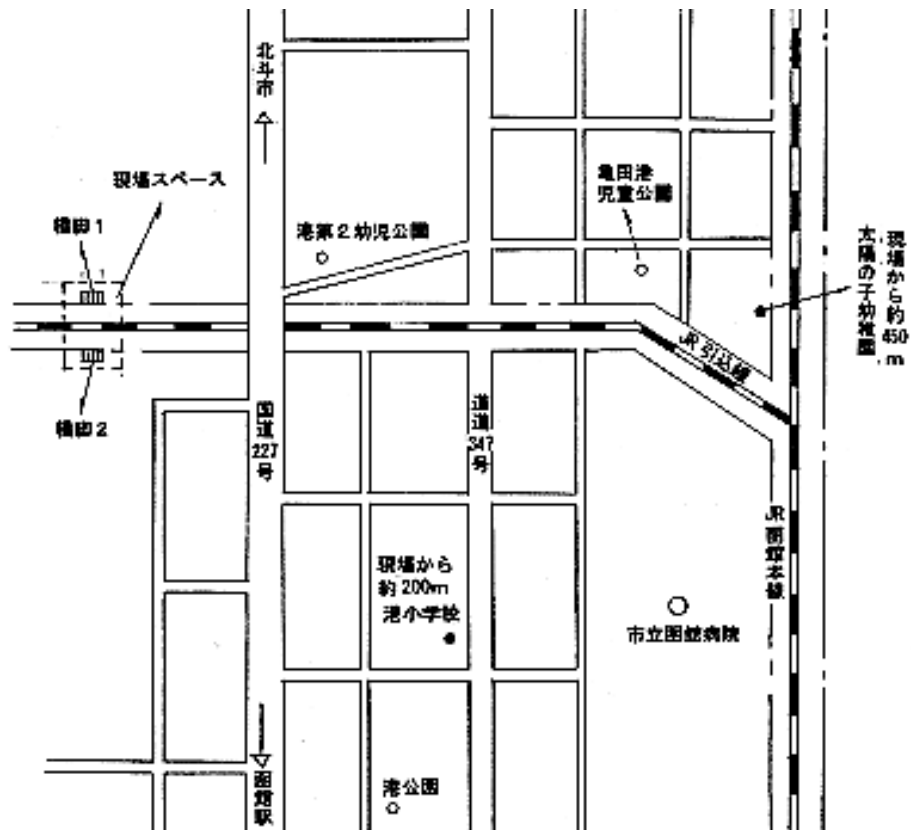


図-1 状況図

何かあった時には、速やかに対処出来るような体制で工事を進めていくので、そのような時には、迷わず助けを求めてほしい旨を児童に周知してほしいと、2つの学校に申し出よう。

①及び②にもとづき、具体的には、下記のような活動を行いました。

- I 函館市立港小学校へ全校児童分（510組）の「反射シール付手袋」を寄贈。
- II 第2太陽の子幼稚園へ全園児分（170個）の「反射板付くまのキーホルダー」を寄贈。
- III 上記の②の内容については、その内容通りのことを実行致しました。

4. 活動結果

工事開始から、約8ヵ月後、翌年3月下旬に工事は完成致しましたが、子供達の各種被災はなく、ホット胸を撫で下ろしたものでした。

又、函館市立港小学校の校長様からは、丁重なる「礼状」を頂きました。

加えて、同校「小学校便り」にもそのことが掲載されました。

そして、第2太陽の子幼稚園への活動に対しては、北海道新聞にその内容が掲載されました。

下記に、函館市立港小学校校長様からの「礼状」及び同校「小学校便り」を表示致します。（写真-1、2）

又、第2太陽の子幼稚園への活動に対しての北海道新聞掲載記事も表示致します。（写真-3）

⑥ 函館市立港小学校 平成19年11月30日

株式会社 高木組 様

函館市立港小学校

校長 橋 本 隆 二



児童用手袋寄贈のお礼

時下、貴社におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、本校の教育活動推進に際しご支援ご協力をいただいておりますことにお礼申し上げます。

さて、この度は 児童用 反射シール付手袋 をご寄贈賜りまして誠にありがとうございました。またとないご厚意の品と感謝申し上げますとともに、至学時着用等有意義に活用させていただきたいと存じます。

貴社のご隆盛をお祈り申し上げ、略儀ながら書中をもちましてお礼のごあいさつに代えさせていただきます。

写真-1 礼状



笑顔いっぱい「港小子どもの日」

11月22日(木)に児童会主催の「港小子どもの日」という行事が行われました。毎年実施している子ども達がとても楽しみにしている行事です。

6年生が16のグループに分かれ様々なゲームを準備します。1年生から5年生は8〜10人一組の縦割り班になり、6年生の準備したゲームを遊ぶというものです。

今年も6年生の工夫を凝らした楽しいゲームの数々に1年生から5年生は、時間を満喫して遊んでいました。

時間をかけ楽しいゲームを準備してくれた6年生、リーダーとしてしっかりグループをまとめていた5年生、高学年の姿もさぞしく感じました。笑顔いっぱいの「港小子どもの日」になりました。



手袋の寄贈

株式会社高木組さんより全校児童に反射シールのついた手袋の寄贈がありました。児童会三役が児童を代表して受け取りました。ありがとうございました。



雑巾の寄贈

1年3組の横あかりさんの祖母工事様子さんと6年1組の平館沙耶さんの祖母丸島千鶴子さんから、手織いの雑巾の寄贈がたくさんありました。ありがとうございました。

写真-2 小学校便り

子供を守るキーホルダー 函館・高木組が園児に贈る



反射板付きキーホルダーを受け取る園児

函館の建設業「高木組」一員、函館市亀田港町の「甲子春園長」を訪れ、反

「函館市立港小学校」に於いて、函館市立港小学校の児童に、日本では珍らしい「キーホルダー」を贈りました。

ルダーを贈る。これは、同社土曜日の三上雅徳さん(40)が「全国で子供の連れ去り事件が起きているので、何かあったことがあったら助けを求めてください」と園児に語り掛け、キーホルダーを手渡した。三上さんは「この近くでも実際に不審者が児童に声を掛ける事件が起きている。私たちが目を光

24日(土)	「トワイ」
16・00	「クエア」
	「05天候」
	「スプラ」
17・00	「30道路」
	「あなたへ」
18・00	「R.O.C.R」
	「T.Y」
19・00	「スピン」
	「ウインド」
20・00	「サリス」
21・00	「シェ」
	「東京から」
	「配信」
25日(日)	「スロー」
7・00	「スター」
	「ジョー」
8・00	「モー」
	「05V」
	「05V」
9・00	「05V」
	「05V」
10・00	「アポロ」
	「石崎」
	「生誕」
	「生誕」

写真-3

平成19年10月24日

北海道新聞 夕刊 掲載記事

活動実施日

平成19年10月21日

(全園児分 170個を寄贈)